



もとみや

議会だより

第35号

平成26年7月発行

冷たくて気持ちいいね!

(五百川小学校 水泳授業)

議案審議..... P.2~3

国民健康保険税 前年度並みに据置き

常任委員会審査..... P.4~5

特別委員会審査..... P.6~7

東日本大震災対策特別委員会に要望書を提出

意見交換会報告..... P.8~9

白沢地区の3会場で開催

市民の意見・要望を市に提出

本議会での討論..... P.10

会派・政務活動費報告 P.11

平成25年度の結果を公開

一般質問 市政を問う 10名が登壇 P.12~17

第4回臨時会 P.17

議会傍聴感想・第2回市民との意見交換会開催のお知らせ P.18

各会計補正予算など 15 議案を可決

6月 定例会

6月定例会（第5回本
宮市議会定例会）は、条
例の制定や各種会計補正
予算など14議案と報告5
件が提出されました。
最終日には市長から議
案1件、議員から発議4
件が提出され、討論・採
決を行った結果、すべて
の議案を原案どおり可決
しました。
また、請願1件が提出
され、審議の結果、採択
と決定しました。

請願一覧表

受理番号	受理年月日	付託委員会	件 名	提出者	審議結果
請 願 第 1 号	平成26年 5月27日	生活福祉	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書	二本松聴力障がい者会 会 長 野 地 初 弘 本宮手話サークルほほえみ会 会 長 野 内 佳 子	採 択
				紹介議員 菅 野 健 治	

国民健康保険の税改正				
項 目			平成26年度	平成25年度
応能	所得割	医療給付費	5.87%	5.56%
		後期高齢者支援金	2.73%	2.89%
		介護納付金	2.15%	2.28%
	資産割	医療給付費	廃止	11.00%
		後期高齢者支援金	—	—
		介護納付金	—	—
応益	均等割	医療給付費	21,100円	20,400円
		後期高齢者支援金	9,000円	9,000円
		介護納付金	10,000円	9,900円
	平等割	医療給付費	16,900円	17,200円
		後期高齢者支援金	7,200円	7,300円
		介護納付金	5,500円	5,600円

地域経済の停滞や低所得者層の増加、国民健康保険加入者の高齢化による医療費の増加や被保険者数の減少等により、一人当たりの税負担が増えている状況を踏まえ、本来は税率改定基本方針に基づき税率改正するところを、市では一人当たりの税額を前年度並みとしました。そのために当初予算で一般会計から国民健康保険特別会計に3千万円を繰入れすることを決定していましたが、さらに補正予算で9千万円の追加繰入れを行います。

議会ではこの税率の改正をめぐり、賛成と反対の立場から討論があり、賛成多数で原案を可決しています。（詳しくは10ページ）

国民健康保険税 前年度並みに据置き

0.24%のみ
引き上げ

第2号

第3号

一般会計補正予算 歳入歳出に 24億5,400万円を増額

農業施設の災害復旧支援に
2億7,440万円

《一般会計補正予算の主な内訳》

歳出

復興公営住宅整備のための基金積立金
…16億5,670万円
農業施設の豪雪災害支援事業補助金
… 2億7,440万円
市役所本庁舎の空調設備改修工事費
… 1億4,900万円

歳入

長期避難者生活拠点形成交付金
…16億5,670万円
豪雪災害特別対策事業補助金
… 2億2,920万円

復興公営住宅整備のための
基金に16億円を積み立て

今議会に提出された平成26年度一般会計補正予算（第2号）は、歳出の約67%が復興公営住宅整備に対して交付される国庫補助金の基金積み立てです。

その他に、本年2月の豪雪により損壊したパイプハウス等の農業施設の復旧及び撤去等に支援を行う経費などが計上されました。

議会最終日には、糠沢・和田・白岩地区の小学校や幼稚園の遊具を更新するための経費などを計上した一般会計補正予算（第3号）が提出されました。

議案質疑

繰出金の考え方は

問 一般会計から国民健康保険特別会計へ9千万円の繰出金が計上されているが、国民健康保険加入者数は市民全体の約4分の1である。税の公平性の観点からどのように考えているのか。

答 国民健康保険の制度は相互扶助であり、本来は国民健康保険税から負担するべきであるが、高齢者や低所得者の方も加入する最後のセーフティネットであり、やむを得ない。

支払いまでのスケジュールは

問 豪雪による農業施設災害支援費について、申請の取りまとめや生産者への支払いはいった頃、どのような形で行われるのか。

答 県では各市町村の事業見込みを把握し、これから予算化や要綱の整備を行う。市でも今後要綱等の整備を行い、秋口には支給できるよう準備を進めていく。

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会には、一般会計補正予算（第2号）のほか4件の議案が付託されました。

主な審議内容は、次のとおりです。



▲委員会室での審査

**長期避難者生活拠点
形成基金条例制定**

空室になった場合は

説明 復興公営住宅整備の経費である長期避難者生活拠点形成交付金を管理し、想定外の事業期間延長等によるリスクを避けるため、基金を設置する。

問 空室になった場合、償還財源である家賃収入面から、市としてのように対応するのか。

答 空室とならないよう努力する必要があるが、入居希望者が少ない場合は、国・県と協議しながら、入居者の条件を緩和するなどの対応を図っていききたい。

一般会計補正予算

他の学校への対応は

説明 今年度より実施する小・中学校のエアコン設置工事のうち、本宮第一中学校の空調設備設置工事管理業務委託の事業費を増額補正する。

問 他の学校も同様の管理業務が必要なのか。

答 本宮第一中学校は、今年度より耐震補強改修工事を予定しており、大規模で居ながら施工となるため、工区分けが複雑であるという特殊事情がある。空調設備整備工事の実施には、耐震補強改修工事とのバランスをとる必要があるためであり、他の学校では不要である。

生活福祉常任委員会

生活福祉常任委員会には、国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定についてのほか、議案5件、請願1件が付託されました。

主な審議内容は、次のとおりです。



▲委員会室での審査

**国民健康保険税条例
の一部改正**

**今後の国保財政の
運営方針は**

説明 国民健康保険加入者の高齢化や被保険者数の減少等により、一人当たりの税負担が増えている。このような状況を踏まえ、税額を前年度並みに据え置く。負担軽減の財源として、前年度繰越金から1億6千万円を充当し、一般会計から9千万円の追加繰入れを行う。

問 国民健康保険の運営主体が市から県に移行する際の税額格差についての考えは。

答 平成29年度を目的に移行される予定であるが、その際に本市の税額が大きく変わらないよう、県内でも平均的な税額に調整している。

問 今後の国保財政運営方針は。

答 国保財政は医療費をはじめ絶えず変動しており、見通しを立てるのが困難であるが、状況を勘案しながら方針を示したい。

請願の審査結果

「手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書」は、多くの人が手話に触れ、耳の聞こえない方が正しい情報取得し、社会的に自由に生活のできる環境づくりに寄与するため、意見書を提出すべきであると全委員の意見が一致し、採択すべきと決定した。

産業商工常任委員会

産業商工常任委員会には、一般会計補正予算（第2号）のほか1件の議案が付託されました。
主な審議内容は、次のとおりです。



▲委員会室での審査

一般会計補正予算

補助金交付までの流れは

説明 豪雪災害特別支援事業の補正増は、2月の豪雪でパイプハウス等の被害を受けた農業者から報告のあった被害状況を基に事業金額が算出される。現在、県で予算を計上している。

問 今後、被災農家への補助金交付は、どのような流れで行われるのか。

答 今後、県で要綱が定められ、本市でも要綱を整備する。それから改めて、被災農家に申請等のお知らせをするため、秋口を目標に補助金の交付を実施したい。

今回の申請増加の原因は

説明 農地等小規模災害復旧事業の補正増は、昨年夏の集中豪雨被害で新たに申請のあった30件分の補助金である。

問 昨年度の実績は3件であるが、今回30件に増加した要因は何か。

答 水稻作付けに向けた春作業で新たに確認され対象案件が増えたものと考えている。

意見書提出

6月13日に規制改革会議が内閣総理大臣に答申した農業改革案について、「現場の農業者や地域の意向を反映し、真に農業所得の向上や農業の成長産業化につながる改革案となるよう取り組むべき」との意見があり、意見書を国へ提出すべきとの意見が一致した。

建設水道常任委員会

建設水道常任委員会には、一般会計補正予算（第2号）のほか4件の議案が付託されました。
主な審議内容は、次のとおりです。



▲委員会室での審査

水道事業会計補正予算

設備整備の計画は

説明 立石山浄水場のろ過施設の一部で漏水が見つかり、他施設への影響も考えられるため、現在施設を休止している。今後の水需要を考慮し、給水に支障が無いよう、仮設ろ過設備を設置するための費用を専決処分した。

問 現在のろ過設備を修繕するのか、それとも新たな施設を整備していくのか。

答 現在のろ過設備は耐震補強が必要な施設であるため、新たな施設更新も視野に入れ検討を進めていく。

一般会計補正予算

説明 復興公営住宅整備にかかる役務費と委託料、市道改良工事に伴う用地取得費、公共下水道事業特別繰出金に伴う補正である。

公共下水道事業特別会計補正予算

説明 公共事業に伴う住宅移転に係る汚水枝線整備費などの補正である。

詳細は裏表紙へ！

議会活性化検討特別委員会

平成 26 年度も意見交換会を開催

5月13日開催の委員会では、平成25年度の意見交換会で市民の方からいただいた意見等の整理・検討と、今後の意見交換会について検討しました。

意見等の整理・検討

平成25年度に予定していた意見交換会が全て終了したため、市民の意見・要望等を「市長部局に伝えるもの」と「議会での対応とするもの」に精査分別し、議会としての対応方針の検討を行いました。

検討の結果、「市長部局に伝えるもの」は、市民の率直な意見として市長部局に伝えることとし、6月10日に議長より市に提出されました。また、「議会での対応とするもの」は全員協議会で全議員に対して報告し意見を求め、その結果を議長に報告しました。

市民の意見・要望等を精査分別した結果は9ページまたは本宮市議会のホームページをご覧ください。

今後の意見交換会

平成25年度の意見交換会の結果を受け、今後の開催について検討を行いました。

委員からは様々な意見が出され、協議の結果、平成26年度も継続して開催することとし、開催単位は小学校区ごとの7会場、時期は10月下旬から11月にかけて開催することとなりました。

7月8日開催の委員会では日程や班編成、報告内容等詳細が決定され、裏表紙のとおり開催することとなりました。



▲会議室での審査

本宮駅周辺整備検討特別委員会

議会として東西アクセス整備を調査・検討

5月21日に委員会を開催し、「本宮駅周辺東西アクセス整備計画」の説明を執行部に求めました。

駅利用者の調査は

説明 市が将来にわたり活気あふれる街であり続けるため、駅周辺の利便性、快適性の向上にぎわいづくりが重要な課題であるため、本宮駅周辺東西アクセス整備事業に取り組む。



▲会議室での審査

問 事業実施のために、駅利用者の詳細調査は実施したのか。

答 東口広場整備計画を進める段階では調査を実施したが、西口も含めた調査は今後進める。

整備費用の負担割合は

問 東西アクセス整備にかかる費用のJRと市の負担割合は。

答 負担割合は国土交通省の要綱に基づき、今後決定される。

本特別委員会では、今後も十分な調査・検討を行います。

東日本大震災対策特別委員会

5月21日開催の委員会では「仮置き場及び住宅除染の状況」「道路の除染」「農産物のモニタリングの状況」「市民の健康調査の状況」「ため池の除染」について、市からの説明を受けました。

主な審議内容は、次のとおりです。

仮置き場設置数、市の方針は

説明 和田・長屋地区は搬入が完了し、関下地区は搬入中であり、高木地区は6月から搬入開始予定である。白岩・糠沢・青田・荒井を除く地区は設計を進めている。

問 岩根地区には仮置き場が5箇所設置されるが、市の方針では大字単位に1〜2箇所ではなかったのか。

答 当初は大字地区単位で13箇所設置する計画であったが19箇所となった。地元の見解を最大限に優先して設置していきたい。

民間の工場等の除染は

説明 住宅除染は和田・長屋・高木・戸上地区が終了し、高木・仁井田・関下・白岩・稲沢・松沢地区は作業中である。

25年度末までの発注状況は3,569件で発注率は43・4%となっており、今年度内には残りの5地区を発注したい。

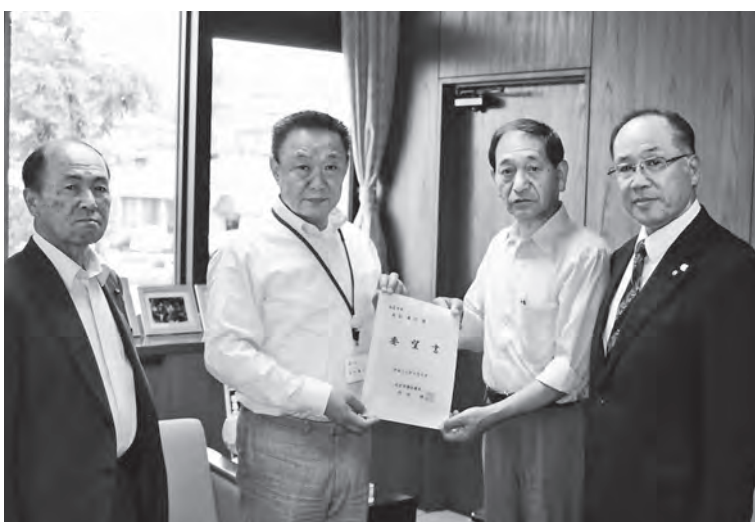
問 民間の工場や施設の除染はどのように進めるのか。

答 住宅除染を優先し、工場等の所有者には順次除染の確認書を送付している。確認書がまとまり次第、地区の除染とあわせて進めていきたい。

市長に今後の対策を要望

特別委員会として市長へ今後の対策を求める要望書を6月9日に提出しました。また、国に対しては福島県内の原子力発電所の全基廃炉を求める意見書を提出することとし、特別委員会としての調査活動は6月定例会で終了することになりました。

要望事項は、下記のとおりです。



本宮市除染実施計画に基づき住宅除染を完了させること

放射線に対する不安を一日も早く解消できるよう、本宮市除染実施計画に基づき平成27年度までに市内の除染を完了させること。また道路及び農業施設の除染の迅速化を図ること。

市民の健康を守るため、長期的な健康管理を図ること

市民の健康を守るため、ガラスバッジやホールボディカウンターによる被ばく線量の測定を継続し、長期的な健康管理を行うこと。

農産物のモニタリングを継続して実施すること

食品に対する安全の確保と、市の農産物の信頼回復のためモニタリングを継続して実施し、情報を発信すること。

農産物の風評被害の早期払しょくのための対策を講じること

農業は本市の基幹産業であるが、放射性物質に対する不安は依然として根強く、風評被害の払しょくのため現在まで様々な活動を行ってきたが、いまだに福島県産の農産物が敬遠されていることから、風評被害の早期払しょくのためさらなる対策を講じること。

第1回 本宮市議会 市民との意見交換会

本宮地区に引き続き、平成 26 年 3 月 25 日には白沢地区の 3 会場で開催しました。白沢地区のそれぞれの会場での結果をご報告いたします。いただいたご意見やご提案は、議会活性化検討特別委員会で集約・精査を行い、今後の政策形成に生かしていきます。

糠沢小学校区



会 場：白沢公民館糠沢分館
 参加市民：31名
 出席議員：後藤省一、佐々木広文、伊藤隆一、矢島義謙、国分民雄、國分義之（6名）

主なご意見

- ・県道の復旧や歩道設置等を議会からも要望して欲しい。
- ・三春街道沿いに街灯の設置を。
- ・ふれあいサロンのバスの助成金がなくなっている。
- ・市の福祉バスを貸して欲しい。
- ・意見交換会を年1回だけでなく2回、3回とやって欲しい。
- ・作った農産物を線量計で測って安全だと言っても売れない。どうすればよいか。

和田小学校区



会 場：白沢公民館和田分館
 参加市民：15名
 出席議員：菊田広嗣、三瓶裕司、根本七太、渡辺秀雄、渡辺忠夫、作田 博（6名）

主なご意見

- ・会派制が導入された。普通は代表質問があると思うがどのようなになっているのか。
- ・和田地区では特に少子化問題が急速に進んでいる。議会での取り組みは。
- ・ドリームラインがただの通過点になってしまっている。
- ・PTAや地区で利用できるバスを購入して欲しい。
- ・防犯灯の設置箇所の増加を。

白岩小学校区



会 場：白沢公民館白岩分館
 参加市民：3名
 出席議員：菅野健治、橋本善壽、山本 勤、渡辺善元、川名順子、渡辺由紀雄（6名）

主なご意見

- ・議会と市民との接点が少ない。興味を持たれる議会にして欲しい。
- ・議会のホームページアドレスを議会だよりのもっと見やすい場所に載せるべき。
- ・8月5日の豪雨災害で自宅付近の道路が崩れたが、市は確認にも来なかった。
- ・意見交換会を土日開催するのとも考えては。

意見・要望を市に提出しました！

市内全7地区での意見交換会が終了したため、いただいた市民の皆さんの意見・要望を議会活性化検討特別委員会で「市長部局に伝えるもの」と「議会での対応とするもの」に精査分別し、「市長部局に伝えるもの」を市に提出しました。主な内容をご紹介します。

市長部局に伝えるもの

市政全般について

- ・郡山市や福島市のように何でも作っていったら（財政的に）つぶれる。小さな市としてこれだけと決めてやれば良い。
- ・市を3つの中学校区で考え、その人達が平等に近い形で恩恵を受けられるように施策を実施して欲しい。

人口増対策関係について

- ・市の人口このままでは減ってしまふ。独身者に出会いの場を。
- ・働ける企業を考えて欲しい。

除染について

- ・糠沢の除染が遅い。
- ・市は土壌検査をしてくれないが行って欲しい。

消防について

- ・消防団OBも活躍できるようにしてはどうか。

- ・岩根地区には駐車場のない消防屯所がある。団員に事故のないようにして欲しい。

教育・文化について

- ・震災後花壇は草だらけ。土を入れ替えて子ども達に土を触らせて欲しい。
- ・学校図書の実を。

その他

- ・ふれあいサロンのバスの助成金がなくなっている。バスの確保をお願いしたい。

道路関係について

- ・阿武隈川堤防に5メートル道路を整備する際に、子ども達の登下校の安全を考慮して整備して欲しい。

- ・県道本宮熱海線で、本宮二中や家畜市場もあり交通量が増えており、三本松交差点が大変混雑している。
- ・光が丘からの県道に歩道を整備して欲しい。
- ・水害で壊れた道路の早期復旧。
- ・大雪の時、歩道の除雪がされず通学する子ども達が気の毒だった。歩道の除雪を強く要望する。

建物・土地利用等について

- ・老人憩いの家の建て替えを。
- ・本宮駅西口通路の早期開設。
- ・住宅の確保等、人口増加を見据えた五百川駅周辺の開発を。
- ・五百川駅前のロータリーが狭く、特に子どもの送り迎えが危険なので早急に改善して欲しい。
- ・スマートインターを蛇ノ鼻周辺に作って欲しい。

- ・西田町から白沢に入ると大変暗い。三春街道沿い街灯を増やして欲しい。
- ・和田のドリームラインは工業にも住宅にも利用できる有用な土地があるが、ただの通過点になっている。

議会での対応とするもの

会派制・政務活動費について

- ・会派での代表質問を行わないなら会派制の意味がないのでは。
- ・政務活動費をもらっている議員は、税金を使っているのだからシビアになって、これだけの成果が上がっていると報告してもらいたい。

議員に要望すること

- ・議員の顔を見ることがないので、いろいろなところに顔を出して意見交換して欲しい。
- ・災害時、議員は歩いて見て回って欲しい。

市民との意見交換会について

- ・今後も継続すべき。
- ・時期・テーマを具体的に絞って欲しい。
- ・周知方法に工夫を。

議会だよりについて

- ・議会だよりの一般質問のページで、その他の質問の内容も細かく知りたい。
- ・議会のホームページアドレスを議会だよりのもっと見やすい場所に載せるべき。



意見交換会の会議録と集約・精査した意見・要望等は、本宮市議会のホームページに掲載しています。

本議会での討論

6月19日の本会議で、議案第42号及び第43号の2つの議案に、反対及び賛成の立場から討論がありました。主な内容は次のとおりです。

議案第42号

本宮市税条例等の一部を改正する条例制定について

この議案は平成26年度の税制改正に伴い、本宮市の税条例等を改正するための議案です。

反対討論

渡辺忠夫議員

改正案の中にある軽自動車税の増税は、自動車業界からの要望に応え自動車取得税を減税・廃止し、その不足を補うためのもので、国民に対し消費税に加えて二重の負担を押し付けている。本市でも軽自動車は大変普及している。

また、法人市民税の引き下げは良いが、その引き下げ分を国税として徴収し、地方交付税の原資とするのは問題である。自治体間の税収格差の是正は地方交付税の財源保障と財政調整の両機能を強化することではなされるべきであるため、反対する。

賛成討論

根本七太議員

この議案は、平成26年度の税制改正で地方税法等の一部を改正する法律などが3月31日に公布されたことに伴い、本市でも改正を行い、速やかに執行することで市民の生活に安全と安心を提供できるものと考え、賛成する。

議案第43号

本宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

この議案は平成26年度の国民健康保険税の税率改正を行うための議案です。

反対討論

渡辺忠夫議員

課税限度額が後期高齢者支援分で2万円、介護納付金で2万円の引き上げになる。市は、一人当たりの保険税を前年度並みとしたとしているが、前年度の課税額は適当だったのかという点と決してそうではない。国保税の滞納額は6,300万円であり、過年度分を合わせると実に2億円を超えることから、課税額を前年度並み以下にするため、一般会計からの繰入れを増やすべきである。

賛成討論

根本七太議員

地域経済の停滞から低所得者層が増加しており、加入者の高齢化や被保険者数の減少等により、一人当たりの国民健康保険税の負担が増えてきている。本来であれば税率改定基本方針に基づき算定となることを、本市としては税率を前年度並みに抑え、市民の生活を守るという提案であり、そのとおりであると認識し、賛成する。

6月定例会賛否一覧

※これ以外の議案等は全会一致で可決されています。

会 派 名		みらい創和会						新 風 会					共	無 所 属							一			
議 案	議員名	川 名	国 分	渡 辺	円 谷	佐 々 木	渡 辺	次 藤	遠 藤	川 名	山 本	三 瓶	菅 野	國 分	渡 辺	菊 田	橋 本	後 藤	根 本	渡 辺	伊 藤	矢 島	国 分	作 田
		正 勝	民 雄	善 元	長 作	木 広 文	由 紀 雄	栄	孝 夫	順 子	勤	裕 司	健 治	義 之	忠 夫	広 嗣	善 壽	省 一	七 太	秀 雄	隆 一	義 謙	勝 広	博
議案第42号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○は賛成 ●は反対 議長（作田 博）は採決に加わらない

※会派名の略称は以下のとおり 共…日本共産党

政務活動費 このように使いました！

政務活動費とは、地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究等の活動の経費として交付するものです。

本市では、「本宮市議会政務活動費の交付に関する条例」を定め、平成25年度から会派または議員は1人当たり月額1万円、年額12万円の交付を受けられるようになりました。また、「本宮市議会政務活動費の取扱いに関する要綱」を定め、政務活動費の使途基準を明確にしています。

平成25年度の政務活動費の使途は次のとおりです。視察先や購入図書等、より詳しい内容をご覧になりたい場合は議会事務局までお問い合わせください。

会派または議員名	みらい創和会	新風会	国分勝広	作田 博
収入	840,000円	720,000円	120,000円	120,000円
調査研究費(a)	296,545円	72,200円	0円	0円
研修費(b)	0円	411,095円	71,000円	36,390円
広報費(c)	372,935円	200,000円	26,769円	0円
要請・陳情活動費(d)	170,520円	0円	0円	17,010円
資料購入費(e)	0円	36,705円	6,145円	18,755円
支出合計(a～eの合計)	840,000円	720,000円	103,914円	72,155円
差引残金(収入－支出合計)	0円	0円	16,086円	47,845円

※差引残金は市の一般会計に返還します。

平成26年度の交付状況

会派または議員名	人数	交付金額
みらい創和会	7人	840,000円
新風会	6人	720,000円
国分勝広	1人	120,000円
作田 博	1人	120,000円



会派の構成はこのようになっています！

会派とは、議会内で同じ政策を持つ議員の集団です。本市では、会派制による議会運営を活性化するため、会派結成の要件を議員3人以上から2人以上に改正を行いました。なお、公党に所属する議員は1人であっても会派として認めています。

平成26年6月定例会終了後には、新たに「市民の会」が結成されました。

会派の名称	所属議員
みらい創和会	◎川名正勝 国分民雄 渡辺善元 円谷長作 佐々木広文 渡辺由紀雄 次藤 栄
新風会	◎遠藤孝夫 川名順子 山本 勤 三瓶裕司 菅野健治 國分義之
市民の会	◎矢島義謙 国分勝広 伊藤隆一 渡辺秀雄 後藤省一 菊田広嗣
日本共産党	◎渡辺忠夫

※◎は会派代表者です。

会派に属さない議員	橋本善壽 根本七太 作田 博
-----------	----------------

市政を

問

う

10人の議員が登壇



原発に依存しないエネルギー施策の推進を
(本宮市役所内の蓄電池)



問 市の理想のエネルギー施策は

答 太陽光と蓄電池の併用を進める

次藤 栄
議員

問 政府は、原発は重要なベースロード電源とし、再稼働すると言っている。事故後の検証と反省もなく、国のエネルギー政策は不安であり、将来を担う子ども達に対して無責任と感じる。再生可能エネルギーを推進すべきと考えるが市の理想は。

答 福島県の一自治体として原発を除いたエネルギー施策を進めるべきであり、その中で市としては太陽光と蓄電池の併用が対策であると考えている。また、民間活力も利用しながら国が電力に対してどのような考えを持つかが注視していきたい。

問 市営住宅の水洗化計画は

答 計画に基づいて進めていく

問 現在の市営住宅は老朽化が進み十分に住みやすい環境とは言えず、トイレの水洗化も進んでいない。住民が仕方がないと諦めることのないよう早急に改修が必要と考える。水洗化されていない戸数とその住宅の水洗化計画の状況は。

答 現在の市営住宅17団地383戸のうち水洗化されていないのは196戸である。現在、兼谷平市営住宅の6戸を計画しているが、水洗化は住宅を使用している状態では困難なので、その状況も勘案しながら長寿命化計画により進めたい。

その他の質問

- ・親水公園・パークゴルフ場について
- ・施設電力使用量程度の太陽光発電を検討しては

問 昨年8月5日に発生した記録的な集中豪雨。特に被害が多かった白沢地区の復旧工事がほとんど進んでいないように思える。復旧工事の進捗状況と今後どのような計画で進めていく予定か。



答 公共債については市内51箇所、このうち4箇所が完了している。また、市単独債は市内90箇所、このうち約6割が完了もしくは現在工事中である。残りの4割は今後6月末から7月にかけて順次発注していききたい。

問 集合住宅地など一時保管場所のない地区は、一時保管場所が確保されるまで、または仮置き場に持ち込めるまで除染作業に入れない。今後住宅除染を早く進めていく上で、汚染土壌の一時保管場所を市が確保すべきと考えるが見解は。

答 基本的には個人の宅地または受託業者が確保した場所に一時保管する方法で進めている。仮置き場用地を一時保管場所にする方法については、今後の仮置き場建設に支障がないか検討し、支援機構と協議しながら可能性を探っていききたい。

その他の質問

- ・市内のシイタケ原木は林業賠償の対象となるか
- ・2月15日の豪雪被災者への支援事業の進捗は



一日も早い復旧を（糠沢字北箕内地区内）

8月5日の水害からの復旧状況は

6月末から未着手箇所を順次発注

橋本善壽
議員



パソコンのリース料を見直し経費削減すべき

問 市のパソコンの年間リース料は874万8千円で、その中にメンテナンステナンス料も含まれているというのだが、実績として年5〜10台しかメンテナンに出さないのなら、メンテナン料を抜いて単品で修繕に出した方が安くなるのでは。

答 契約の中にメンテナン料も含まれているので、それを除いた金額等は計算していない。今後メンテナン料を別にして契約した場合、リースと比べて経費にどのような差があるのか調査していきたい。

問 現在の市のインターネットを活用した情報発信はホームページのみである。ツイッターやフェイスブック等は無料で活用しては。特にフェイスブックは、例えば掲示板を利用し駅の東西アクセス等市民の意見を収集できると考えるが。

答 利用しない人に対して情報発信ができないことや、誰でも自由に書き込みができることから、その対応体制の整備も必要であり、現在すぐに導入するという考えは持っていない。今後も社会情勢等把握し、必要性が生じれば検討したい。

その他の質問

- ・オープンOS導入について
- ・IT化社会に向けての教育について

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)…インターネット上の交流を通して社会的ネットワークを構築するサービスのこと。

市のパソコンリース料の見直しを

経費の差を比較調査していききたい

菊田広嗣
議員

問 SNS等を情報発信に活用しては

答 現在すぐに導入する考えはない



将来の大玉村との合併は（安達太良山）

問 教育現場でタブレット端末の導入が進んでおり、国は平成32年までに小・中学校の児童・生徒一人に1台整備する目標を掲げている。タブレット端末を用いた授業について市の見解は。

答 今年度、国が取り組み出したばかりで、タブレット端末を用いた授業を行う環境の整備に1校約1億円かかる。全国に広がれば値段も下がりますが、将来的には導入も考えられるが、現時点では費用的なことだけでなく、難しい部分がある。

問 本市は、商圏は郡山市、広域行政組合は二本松市、大玉村と2市1村の結びつきがあり、市の発展には欠かすことができない。今後の職員の人事交流を含めた連携・提携についての考え、また将来の大玉村との合併について市の見解は。

答 人事交流は実施していないが観光面のPRを一緒に行っている。今後も意見交換を行い、連携を図っていく。合併について大玉村長は当面自立の道を進むと議会で答弁しており、本市では状況に応じて情勢を見ながら対応していきたい。

その他の質問

- ・市税等のペイジー制度・クレジット納付について
- ・修学旅行について



問 タブレット端末を用いた教育は
答 現時点で導入は難しい

菅野健治
議員



問 市道拡幅改良の進捗状況は

答 協議が整い次第、設計にかかる

国分勝広
議員

問 ①市道万世・中條線（郵便局南側）の拡幅改良の計画は現在どうなっているのか。
②万世・下町線（下町交差点西側）の約60mの通行できない区間を拡幅改良し、通行できるようにすべきでは。

答 ①県北建設事務所、警察署等の協議が整い次第、詳細設計や物件調査を行い、来年度以降用地確保に取り組み、決まり次第工事に着手したい。
②整備の際には道路整備計画を作成し、地域への影響や住民の安全にも配慮する必要がある。

問 「権限10年」と言われるように権力を持つて10年も過ぎると麻痺してくる。権力を帯びている者がそれを乱用し自己の権限を極限まで利用しようとするのは歴史も示している。そこで自ら多選自粛条例を提案する考えはあるのか伺う。

答 今のところ市民から多選自粛条例制定を言われたことはなく、自ら率先して制定する考えはない。あくまでも市民が市長や議員を選ぶ、その判断の中で一番良いと思う方に投票し、結果としていろいろな形が出てくると考えている。

問 市長の多選自粛条例を
答 率先して条例をつくる考えはない

その他の質問

- ・小・中学校の教育について
- ・次年度も執行者として市長選に立候補するのか



朝混雑する万世・中條線出口



家屋の評価は公正・公平に



問 行政区制度を充実させるべきでは

答 現状で効率よく果たされている

渡辺秀雄
議員

問 市政の円滑な運営を期するため行政区があり、区長には市との連絡調整や地域づくりに努めていただいているが、本市の行政区は合併前の町内会が移行したもので、本来のあり様ではない。戸数・区域等を含め見直しが必要では。

答 市内116行政区それぞれに昔からの歴史や文化、人とのつながりがあり、行政とのパイプ役としても効率よく果たされていると考えている。また、小規模の行政区ほど各種事業への参加率が高いこともあり、現状のとおりで進めたい。

問 リフォームも評価の対象にすべき

答 技術的に困難、外観調査を進める

問 家屋の評価は建築確認申請などを基に調査し、評価額が決定されているが、市では評価漏れがないか再調査を始めた。新築や増築だけでなく、大規模なリフォームも対象にすべきではないか。

答 今回の再調査については外観調査であり、内部をリフォームしたかどうかは確認ができていない。仮に実施していたとしても、変更部分の課税評価を再計算することは現在技術的に大変困難であり、外観調査を実施している。

問 家屋の評価は建築確認申請などを基に調査し、評価額が決定されているが、市では評価漏れがないか再調査を始めた。新築や増築だけでなく、大規模なリフォームも対象にすべきではないか。

答 今回の再調査については外観調査であり、内部をリフォームしたかどうかは確認ができていない。仮に実施していたとしても、変更部分の課税評価を再計算することは現在技術的に大変困難であり、外観調査を実施している。

その他の質問

- ・五百川駅周辺整備の検討に着手は
- ・積極的な宅地造成促進の考えは



問 安達疏水土地改良区への支援は

答 真摯にできる限りの支援をしたい

根本七太
議員

問 安達疏水土地改良区

の認識、市はどう捉えているのか。水利費の42%増は異常と感じる。水確保に他の手段がない白沢地区では、改善を図らなければ維持できないのではと危機感を覚える。市として支援すべきと考えるが。

答 かんがい排水事業に

より、天候に左右されず計画的な作付や管理ができ、また適量の水が得られ、農業経営に大きく貢献した重要な組織であると認識している。白沢地区の農業存続のためこれからできる限りの支援をしていきたい。

問 市の結婚支援事業への取り組みは

答 住みよいまちづくりを進める

問 農家・商店の後継者嫁

対策これまで商工会や農業委員会で取り組んだ経過はあるが、効果と課題は。先進地である山形県鶴岡市と庄内町では昔の仲人に着目した結婚支援事業を展開している。こういった活動について市の考えは。

答 各団体でイベント等

開催しているが結婚には結びついていない。また人が集まらない問題もある。市の対策として今の社会情勢から行政が介入して成果を上げるのは難しいが、子育てをしたいと思える住みよいまちづくりを進めていく。

その他の質問

- ・多発する有害鳥獣駆除対策について



安達疏水土地改良区ポンプ場（和田字南大沢地内）



高齢者も多く利用する中央公民館



問 防災組織への支援は

答 設立時に20万円を限度に援助

円谷長作
議員

問 ①頻発する集中豪雨に対し、防災無線による周知が大切であるが、公民館や学校、集会所などへの設置は。
②町内会など地域や企業による防災組織の設置状況と設置に向けた支援を強化するべきではないか。

答 ①防災無線は公民館や学校にはあるが、幼稚園・集会所等にはない。幼稚園等には教育委員会から連絡している。
②企業は把握していないが、市内には19の自主防災組織がある。設立時に援助をしており、共済への加入等も検討したい。

問 認知症による徘徊や行方不明者が平成25年は1万322人。65歳以上の高齢者では、7人に1人が認知症と推計される。市では患者数を把握し、予防や対処策を検討するべきと考えるが、またGPS端末の貸し出しは。

答 予防では早期に治療していただくことが重要と考え、対処策としてはケアマネージャー等を通じた指導や、重度の場合、施設等への入居をしていただいている。GPS端末は平成23年度から累計で6台貸し出している。

その他の質問

- ・なりすまし詐欺や消費者トラブル対策について
- ・防災訓練や防災へ向けた講演会について



災害に備え集会所等へも防災無線を設置しては

問 小学校の入学式に出席し、入学生の少なさに驚いた。これまで2クラス以下になったことのない学校で1クラスである。子育て支援には沢山の対策があるが、その一環として出産祝い金を支給してはどうか。

答 県内13市中3市が出生祝い金の制度を実施しており、残り10市は実施していない。少子化対策として、この制度を導入したからといって子どもが増えるわけではないと考えているが、他市の状況等も含めて研究したい。

問 中央公民館は市民が集まる重要な施設である。市民から寄せられる公民館に対する要望の中には、エレベーターをつけて欲しいとたくさん寄せられている。その要望に応え、ぜひともエレベーターを設置すべきと考えるが。

答 中央公民館は、昭和52年建築の建物であり、耐震面でエレベーターの設置に見合う構造ではない。そのため現状では設置は困難なため、今後の耐震診断や大規模改修等が行われる中で検討していきたい。

その他の質問

- ・除染の進捗状況とスピードアップについて
- ・道路管理について



問 子育て支援の一環に出産祝い金を

答 他市の状況等も含めて研究したい

渡辺忠夫
議員

問 中央公民館にエレベーター設置を

答 今後の大規模改修の中で検討する

第4回臨時会

本宮第一中学校 北校舎の 耐震補強改修工事契約を締結



▲耐震補強工事が始まる本宮第一中学校北校舎

5月9日に、第4回臨時会が開かれ、本宮第一中学校北校舎耐震補強改修(建築主体)工事請負契約の締結や専決処分の承認が行われました。

本宮第一中学校北校舎耐震補強改修工事請負契約は、随意契約により石橋建設工業(株)と契約を締結するため、議会の議決を求めるものではありません。契約金額は3億672万円です。



専決処分の承認では、繰越明許費補正予算や本宮市税条例の一部を改正する条例制定について承認されました。



子ども達の安全のため通学危険箇所の早期改善を

問 市長は常に市民の意見を掌握し、公平・公正な行政執行をすべきと考えるが、就任以来現在まで市民の目線で行政執行しているのか伺う。

自治体の行政を市長一人で行うことは不可能である。職員のアイデアを生かすべきと考えるが。

答 就任以来様々な形で、市民の要望は多種多様で全てに応えることは難しいが、より多くの要望を受け入れられる予算編成を目指している。職員のアイデアは情報の共有化を図り、予算や事業の展開に反映したい。

問 東日本大震災・大雨・大雪等により大きな被害が発生している。現在災害復旧されている。道路の数と復旧計画は。また、幼い子ども達に何かあったら大変な問題である。通学路の危険箇所の数と改善についての考えは。

答 公共災害復旧で未着手は51件中18件で、うち14件は6月中に入札を予定。単独災害は90件中43件が未着手。6月末から順次発注する。通学路では66の危険箇所があり、対策可能箇所を整理しながら年次計画で進めていく。

問 通学路の危険箇所の改善の考えは

答 対策可能箇所を整理し進めていく

問 市民目線で行政執行しているのか

答 より多くの要望を受け入れたい

矢島義謙
議員

その他の質問

- ・ しつけと非行防止の関連について
- ・ 学校支援のボランティア委嘱について

6月定例会を傍聴された方は47人でした。
今回はその中から遠藤基栄さん(本宮字中條)に傍聴の感想をお聞きしました。

議会傍聴感想

久しぶりの議会傍聴の機会を得ました。FMモットコム放送の録音もあり、多数の市民の方が傍聴されていました。一市民として、本宮市の将来像には無関心ではいけないの思いもあり、特に未婚者の増加には危惧をしています。私達一人ひとりの生活の営みが社会を形成し、経済を支えています。その基本である出生率の低下が問題だと常々考えています。

議員の一般質問の中で、自らの地域における結婚適齢期の継続的データを紹介しての質問は説得力がありました。結婚しない、できない、したいが進められない等、いろいろな社会背景があると思いますが、10年目を迎える個人情報保護法の拡大解釈によるコミュニケーション阻害も大きな原因の一つとなっていると思います。議員提案のうちに「縁結び隊」なるおせっかい人の後押しを、市民・行政一体となつて取り組まれることを切に願います。市民の義務と権利として議会傍聴に一度足を運んではいかがでしょう。



遠藤基栄さん

意見交換会のテーマを募集します！

市民の皆さんと意見交換をするテーマの候補を募集します。
8月末までに議会事務局まで電話・FAX、またはメールにてお寄せください。



※定例会・臨時会の概要なども報告いたします。

**次回9月定例議会は
9月2日に開催予定です。
請願・陳情の締め切りは
8月21日です。**

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。
問い合わせ TEL33-1111 (内線 302)

本宮市議会 第2回 市民との意見交換会開催のお知らせ

今年度も市民との意見交換会を開催いたします！
どなたでも参加できますので、ご都合のよい会場へお越しください。
開催時間はいずれの会場も午後6時30分から2時間程度です。

開催日	学 区 会 場	出席議員
10月23日(木)	岩根小学校区 岩根地区公民館(和室)	・次藤 栄・根本七太・渡辺善元・伊藤隆一 ・矢島義謙・国分民雄・国分義之
10月30日(木)	糠沢小学校区 白沢公民館糠沢分館(和室)	・橋本善壽・後藤省一・佐々木広文 ・遠藤孝夫・国分民雄・国分義之
10月30日(木)	和田小学校区 白沢公民館和田分館(和室)	・三瓶裕司・円谷長作・根本七太・山本 勤 ・渡辺秀雄・川名正勝・渡辺忠夫
10月30日(木)	白岩小学校区 白沢公民館長屋分館(和室)	・菊田広嗣・菅野健治・渡辺善元・川名順子 ・渡辺由紀雄・国分勝広・作田 博
11月 5日(水)	本宮小学校区 高木地区公民館(和室)	・菅野健治・次藤 栄・佐々木広文・伊藤隆一 ・矢島義謙・作田 博
11月 5日(水)	まゆみ小学校区 えぼか(中会議室)	・菊田広嗣・三瓶裕司・後藤省一・円谷長作 ・山本 勤・川名正勝・国分勝広
11月 5日(水)	五百川小学校区 青田農耕センター(和室)	・橋本善壽・渡辺秀雄・川名順子 ・遠藤孝夫・渡辺由紀雄・渡辺忠夫

あ と が き

野山や田畑など緑が一段と濃くなった中で行われた6月議会。追加議案を含め15の議案が可決され、さらなる超大型予算となりました。除染を含め、水害や雪害からの復旧ならびに支援に対する予算が多く計上されています。

近年は、想像を超えた豪雨や豪雪と自然の驚異を身近に感じる事が多くなりました。これからさらに暑さが増し、長雨やゲリラ豪雨等の発生が心配されます。もしもの事態を想定し備えておくことも大事なことです。

最後に、今年は自然災害の発生が無いことを強く願うばかりです。
(橋本)

発行責任者

議 長 作田 博

副委員長 後藤省一

委員 次藤 栄

委員 菊田広嗣

委員 菅野健治

委員 橋本善壽

委員 遠藤孝夫

委員 国分勝広

委員 国分義之